

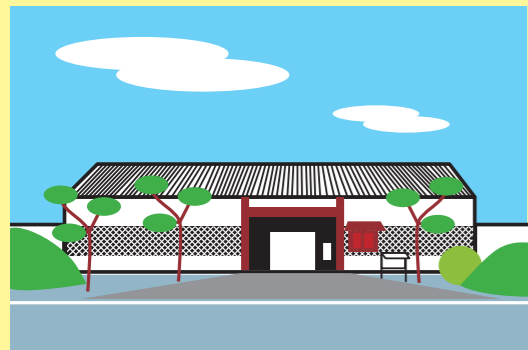


岡山城

宇喜田秀家により1597年、築城。岡山藩主池田氏の居城となり、三層六重の天守閣は外壁の下見板が黒いため別名烏城(うじょう)と呼ばれている。1997年(平成9年)に築城400年を迎えた。

後楽園

日本三名園のひとつに数えられる回遊式庭園。2000年(平成12年)に築庭300年を迎えた。



林原美術館

岡山城二の丸対面所跡にあり、武家屋敷の長屋門が目印。刀剣、調度品、絵画など池田家伝来のものも数多く展示されている。



岡山シンフォニーホール

2001席の大ホール。西日本初のボックス席が設置されている。

内山下ってどんな所?



日本三名園のひとつ岡山後楽園、岡山城、美術館や図書館など文化施設が集まっており、岡山カルチャーゾーンの一部です。

岡山城の城下町として、商業の中心として栄えてきた、歴史のある地域です。

豊かな緑に囲まれた旭川の美しい水辺。

ゆっくり散歩しながら、季節の移りかわりを感じることができます。



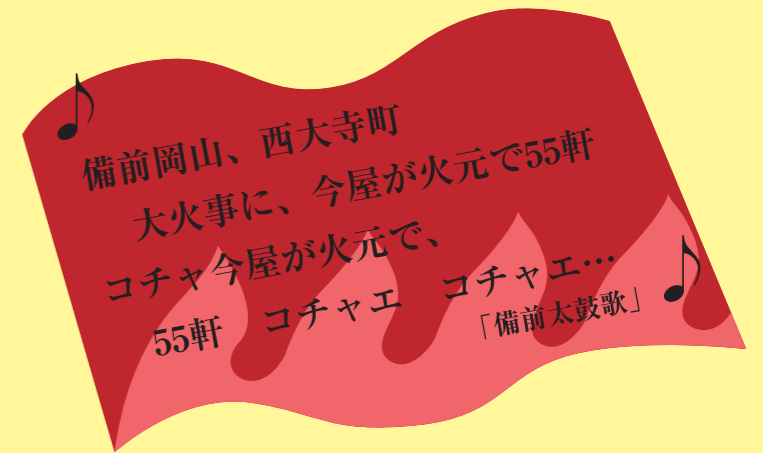
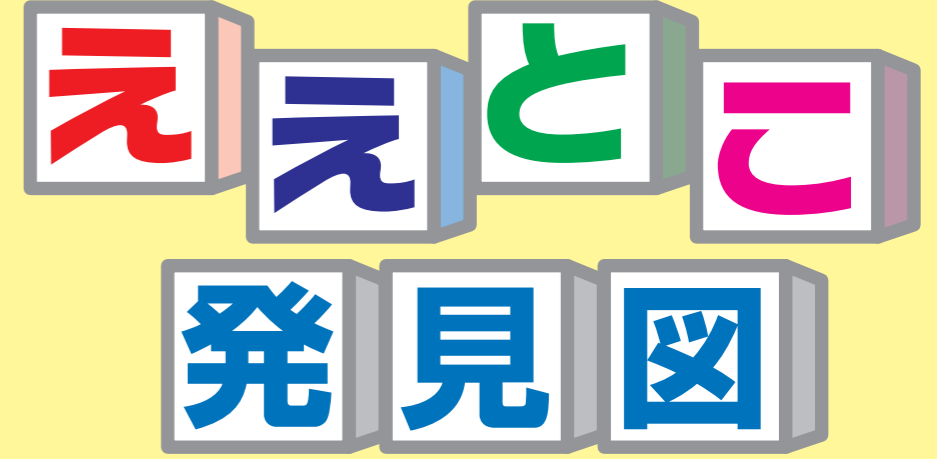
わくわく表町を歩く会にて、距離を測った。



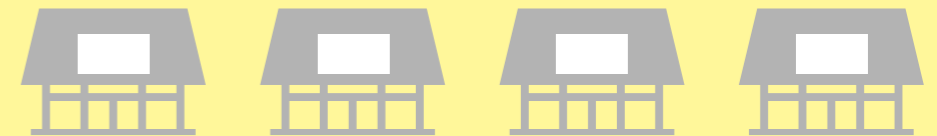
作成者

内山下地区愛育委員会 内山下学区栄養改善協議会 わくわく表町を歩く会
岡山市保健所・中央保健センター

内山下地区



江戸時代、表町に今屋というお店が4軒あり、砂糖・呉服・玩具・下駄を売っていた。ある日、この4軒のうちどこかから火が出て大火事になった。砂糖屋の善兵衛さん一家が、飴のように溶けた砂糖倉の中で、焼死体で見つかった。この事件は「備前太鼓歌」として歌いつがれている。



「ええとこ発見図」は、自分たちの住んでいる「地域の良さ」を再発見しようという視点で作成したものです。作成過程で、地域を何度も歩くことにより普段見過ごしていた大切な資源を再確認しあい、話し合いを重ねてつくりあげました。いろいろな人と知り合い、お互いを認めあうことで、この地域に住む人の「ええとこ」も再発見しました。そして、今まで以上に愛着が深まりました。この「ええとこ発見図」を利用して、ますます地域の絆が深まっていくことを願っています。

—作成者一同—